

「企業と地域の発展のために、行動する商工会へ」

1961~2021

60年のあゆみ

TAMAKAWA society of commerce & industry



(平成14年10月に改修された商工会館)



玉川村商工会

玉川村商工会

1961~2021

60年のあゆみ

目次

1. ごあいさつ	玉川村商工会長 岩谷 幸雄	1
2. 祝 辞	玉川村 長 石森 春男	2
3. 祝 辞	福島県商工会連合会会長 轡田 倉治	3
4. 60年のあゆみ（令和3年度）		4
5. 商工業者・会員数の推移		5~7
6. 年度別財政の推移		8~13
7. 年度別商工会事業の概要		14~16
8. 歴代役員・職員一覧		17~22
9. 60周年時の記念事業		23



ご あ い さ つ

玉川村商工会
会長 岩谷 幸雄

玉川村商工会創立 60 周年を記念する年にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、本会は昭和 35 年に商工会法が制定された翌年の昭和 36 年 10 月に、会員相互の利益と地域経済の向上発展を目的に掲げ、地域唯一の経済団体として誕生いたしました。

それ以来、日本は戦後の復興期、高度成長期、バブルによる崩壊期、そして近年の急激な世界の自由化、グローバル化により新たな市場経済に変動してきました。現在は、それに加えて IT 化が進み、人々の生活様式や経済のしくみが変わり、社会全体が大きく変わりつつあります。

これまで、このような目まぐるしく変化してきた経済や産業の時代を乗り越えてくる中で、地域経済の安定と発展のため、商工会の目的と使命を果たすべき事業に取組み、今年で 60 年の歴史を刻むことになりました。

60 年の歴史を振り返りますと、幾多の苦難を乗り越え、商工会の基礎を築かれました歴代の役員員の献身的なご努力に対し、感謝と敬意を表すものです。

今年は、日本の経済、世界の経済が新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、歴史上類をみない大打撃を受けています。当地域の商工業を取り巻く環境は、益々多くの課題を抱え、厳しい状況が続いております。

このような厳しい状況の中で、当商工会は、新たな地域経済の再生を目指し、地域の個性や魅力の新たな視点での創出、独自性を発揮、そして、変化する消費者のニーズに誠意をもって対応しなければなりません。特に、地元の商業者にとっては、人口減少、高齢化が進む中で、今後の街づくりを形成していくうえで欠かせない貴重な存在であります。

我々、商工業界は事業承継問題に加え、事業廃業者が続出するなど大変厳しい状況にあるのが現状ですが、行政と商工会が一体となって公共的な役割機能を果たせる安全安心で、賑わいのある街並みを後世に残していくことが、我々に課せられた責務であります。商工会と行政が、目指すべき未来をしっかりと見据え、今後、変化の激しい時代の中で、柔軟な発想と創意工夫で難局に立ち向かい、進むべき道を切り開いていかなければならないと考えております。

今後は、商工会と行政が今まで以上に協力体制を築き、商工業者の皆様との連携を密にいたしまして、地域経済の発展と振興に取り組んでまいりたい所存であります。関係各位の格別なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつといたします。



祝 辞

玉川村
村長 石森春男

この度、玉川村商工会が創立60周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから岩谷会長をはじめ玉川村商工会の皆様方には、本村の商工振興はもとより、市政各般にわたりまして多大なる御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

玉川村商工会におかれましては、昭和36年10月の創立以来、バブル崩壊やリーマンショック、東日本大震災による経済の低迷など、数々の経済危機に直面しながらも、時代や地域のニーズを踏まえた様々な事業を展開し、60年という長きにわたり、地域経済や本村の活性化に多大な御貢献をいただきました。これもひとえに、歴代会長をはじめ、関係者皆様方の熱意と御尽力の賜物であり、衷心より深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

近年の新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域経済への影響が顕著となる中、売上減少に伴う支援や地域経済の底上げをするプレミアム商品券発行等の各種事業により、地域事業者への売上確保と事業継続に御尽力を賜り感謝申し上げます。

感染症の影響により、地域事業者におきましても、テレワークやオンラインによる会議・商談など、新たなビジネス手法の導入を迫られるとともに、少子高齢化・人口減少による事業継承や人材確保の課題、さらには、IoTやAIに代表される技術革新が進むなど、時代はまさに大きな転換期を迎えております。このような状況の中、今後も持続的かつ力強く発展していくためにも、本村の地域経済をお支えいただいている玉川村商工会の役割はますます重要になると考えております。

本村といたしましても、地域の将来展望につながる施策の創造と実現を図るため、より一層のきめ細やかな対応を図る上で、玉川村商工会のご支援とご協力は必要不可欠でありますので、皆様方におかれましては、今後とも、次世代を担う企業・人材の育成役として、また、地域事業者の頼れる相談役として、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立60周年を契機といたしまして、玉川村商工会の更なる御発展と、会員の皆様方のますますの御活躍を心からお祈り申し上げます。



「玉川村商工会創立 60 周年記念誌」祝辞

福島県商工会連合会
会長 轡田倉治

玉川村商工会が創立 60 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

貴商工会におかれましては、昭和 36 年 10 月に創立以来今日まで 60 年間、会員をはじめ役職員皆様方の御努力により、経営改善普及事業を中心とした取り組みを積極的に実施され、地域社会の発展に多大な成果をあげてられました。改めて深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

御承知のとおり「商工会法」は地域の商工業の総合的な改善発達を図ることを目的に昭和 35 年に施行され、商工会は我が国の中小企業対策を担う中心的機関と位置付けられました。

平成 26 年には、小規模企業振興基本法の制定により小規模事業者への新たな施策体制が構築され、また小規模支援法の改正により事業の持続的発展のための各種政策も充実して参りました。

このような中、玉川村商工会は、会員事業者の抱える経営課題の掘起しや解決のため、国より経営発達支援計画の認定を受けての新たな需要開拓のための販路拡大支援、新型コロナ緊急経済対策に係る国、県、村の各種申請手続き支援など、きめ細かな伴走型支援を実践され、事業者の持続的発展に積極的に取り組んでおられます。

また、平成 23 年には東日本大震災・原発災害に見舞われましたが、放射能測定や損害賠償請求の支援を行うとともに、道の駅たまかわと協力し合い観光 P R や物産展への出店など、地域の商工業者に寄り添った復旧復興支援に努めてられました。さらに、プレミアム商品券の発行事業に取り組みられ、地域ビジネスの強化を図るとともに、村役場・福島空港と連携しての福島空港まつり、空の日フェスティバル、たまかわ産業まつり等の賑わい交流観光振興を積極的に展開され、事業機会の創出や地域コミュニティの活性化に貢献されてられましたことは、まさに歴代役員のリダーシップと会員皆様のご尽力のたまものであります。

現在、頻発する自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大により、事業者の経営環境はかつてなく厳しい状況にあります。貴商工会におかれましては、創立 60 周年を契機に、より一層会員の皆様に寄り添い、一丸となって地域商工業の発展に取り組まれるとともに、明るく活力ある地域づくりに寄与されますことをご期待いたします。

結びに、玉川村商工会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

玉川村商工会(60年の歩み)

令和3年7月1日現在

● 設立年月日	昭和36年10月18日	● TEL	0247 (57) 2250
● 地区内人口	6,731人	● FAX	0247 (57) 2959
● 世帯数	2,126戸	● E-mail	tamasyo@coral.ocn.ne.jp
● 商工業者数	328人	● ホームページ	http://tamakawa.com/
● 会員数	208人	● 組織率	62.5%

■ 会員数内訳 (令和3年4月1日現在)

建設業	78人	小売・飲食業	80人	定款会員	3人
製造業	60人	サービス業	82人	特別会員	
卸売業	8人	その他	18人	合計	208人

■ 内部組織

■ 歴代商工会長名 (創立以降)

年 度	会 長 名
昭和36年度～昭和46年度	尾形 量致
昭和47年度～昭和54年度	塩澤 直利
昭和55年度～平成7年度	双里 正司

年 度	会 長 名
平成7年度～平成15年度	古寺 福喜
平成16年度～平成24年度	境田 孝意
平成25年度～	岩谷 幸雄

■ 役 員 (令和3年7月1日現在)

(任期：令和3年5月～令和6年5月)

3年任期



会 長
岩谷 幸雄



副会長
野崎 一幸



副会長
古寺 貴栄

◇ 理 事

相楽 正雄	関根 英樹	仁井田 武男	圓谷 久	関根 正己
鈴木 栄二	車田 幸司	江幡 英一	片寄 富士美	瀬谷 浩宣
五十嵐 定男	塩田 晃	佐藤 匡成	小原 拓也	円谷しのぶ

◇ 監 事

鈴木 繁一 瀬谷 吉利

- 職 員 ●事務局長 瀬谷 房之 ●経営指導員 古澤 貴弘 ●経営支援員 尾股 み咲・石井 淳子
(5人) ●臨時職員 佐藤 由美子

□令和3年度主な取組み

- R3.5.19 第60回通常総会 役員改選 会長 岩谷 幸雄氏 重任 ・運営規約の一部改正
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種イベントが中止となった。
・新型コロナウイルス経済対策事業の取組み (プレミアム商品券発行事業・経営維持支援事業・テイクアウト事業等)

□商工業者・会員数・商工会組織率の推移

(過去60年間の推移)

(昭和36年度～令和2年度)

(各年度4月1日現在)

年度別	玉川村人口	商工業者数	会員数	組織率	年度別	玉川村人口	商工業者数	会員数	組織率
昭和36年	8,565		172		平成 3年	7,658	248	229	92.3%
昭和37年	8,566		205		平成 4年	7,665	275	230	83.6%
昭和38年	8,387		205		平成 5年	7,657	270	234	86.6%
昭和39年	8,323		214		平成 6年	7,676	329	250	74.5%
昭和40年	8,021		202		平成 7年	7,593	330	243	73.6%
昭和41年	8,023		209		平成 8年	7,631	330	237	71.8%
昭和42年	7,826		209		平成 9年	7,629	330	244	73.9%
昭和43年	7,566				平成 10年	7,636	330	246	74.5%
昭和44年	7,484				平成 11年	7,607	343	239	69.6%
昭和45年	7,480		185		平成 12年	7,680	371	243	64.4%
昭和46年	7,297		191		平成 13年	7,651	403	243	59.3%
昭和47年	7,263				平成 14年	7,588	401	246	60.3%
昭和48年	7,198		187		平成 15年	7,567	380	238	61.3%
昭和49年	7,191		187		平成 16年	7,601	358	229	63.1%
昭和50年	7,248		181		平成 17年	7,602	361	229	62.9%
昭和51年	7,278		199		平成 18年	7,534	362	228	62.4%
昭和52年	7,327		214		平成 19年	7,501	359	228	63.5%
昭和53年	7,350		208		平成 20年	7,445	350	229	64.3%
昭和54年	7,379		211		平成 21年	7,362	338	220	63.9%
昭和55年	7,431		210		平成 22年	7,231	342	223	64.8%
昭和56年	7,448		213		平成 23年	7,150	342	217	63.0%
昭和57年	7,480		213		平成 24年	7,075	342	216	62.7%
昭和58年	7,465		219		平成 25年	6,976	343	212	61.2%
昭和59年	7,482	239	217	90.7%	平成 26年	6,874	338	206	59.5%
昭和60年	7,505	239	218	91.2%	平成 27年	6,777	342	200	58.0%
昭和61年	7,510	239	222	92.8%	平成 28年	6,783	342	204	59.2%
昭和62年	7,546	240	230	95.8%	平成 29年	6,735	342	200	58.0%
昭和63年	7,558	249	225	90.3%	平成30年	6,579	342	197	57.1%
平成 元年	7,598	251	226	90.0%	令和元年	6,684	341	194	56.5%
平成 2年	7,631	249	225	90.3%	令和2年	6,398	328	208	62.5%

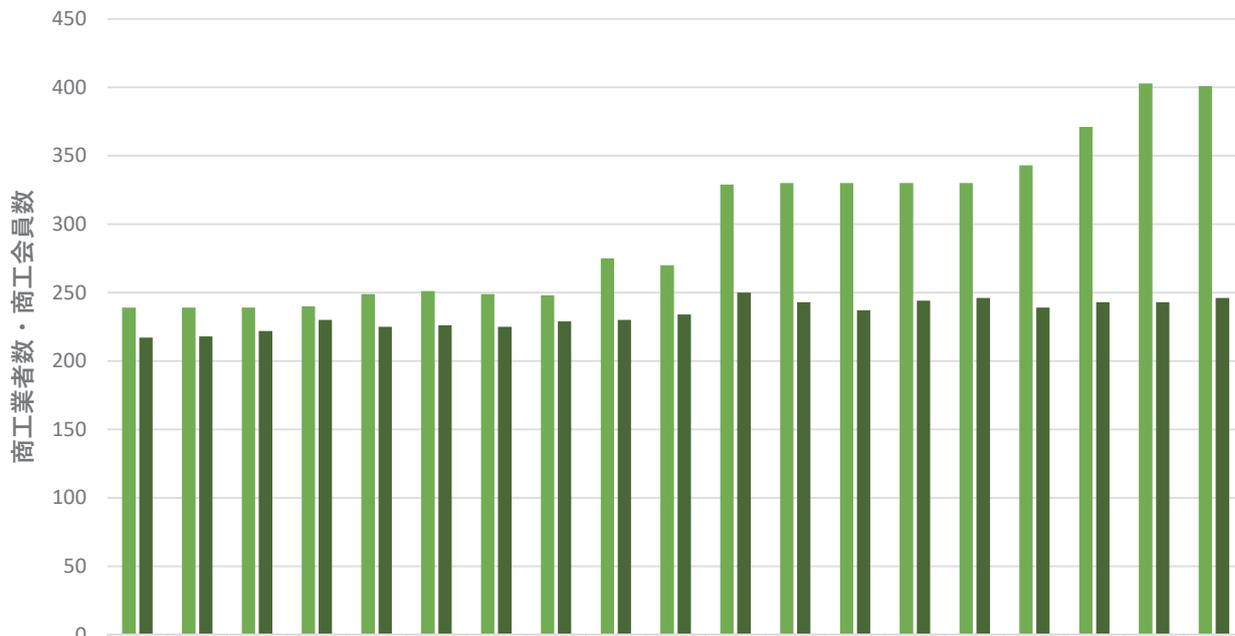
商工業者・会員数・商工会組織率の推移

(過去の推移)(昭和59年度～令和3年度)

(昭和59年度～平成14年度)

(各年度4月1日現在)

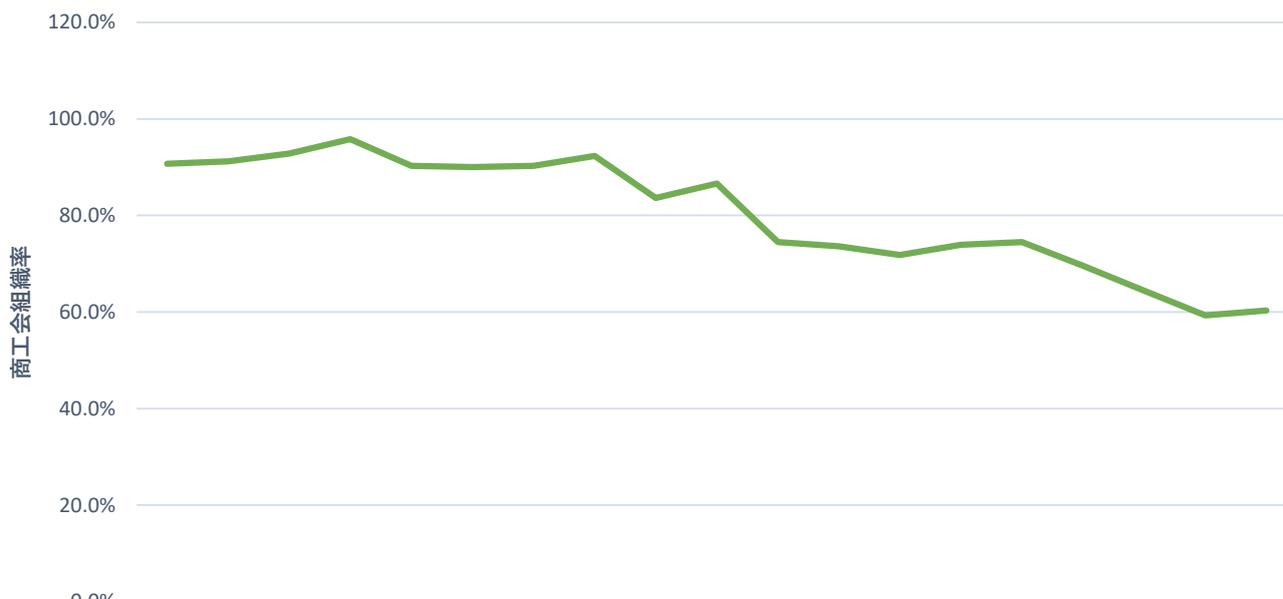
玉川村内商工業者数対商工会員数割合



	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
■ 商工業者数	239	239	239	240	249	251	249	248	275	270	329	330	330	330	330	343	371	403	401
■ 会員数	217	218	222	230	225	226	225	229	230	234	250	243	237	244	246	239	243	243	246

年度別商工業者数・会員数

商工会組織率



	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
— 系列6	90.7%	91.2%	92.8%	95.8%	90.3%	90.0%	90.3%	92.3%	83.6%	86.6%	74.5%	73.6%	71.8%	73.9%	74.5%	69.6%	64.4%	59.3%	60.3%

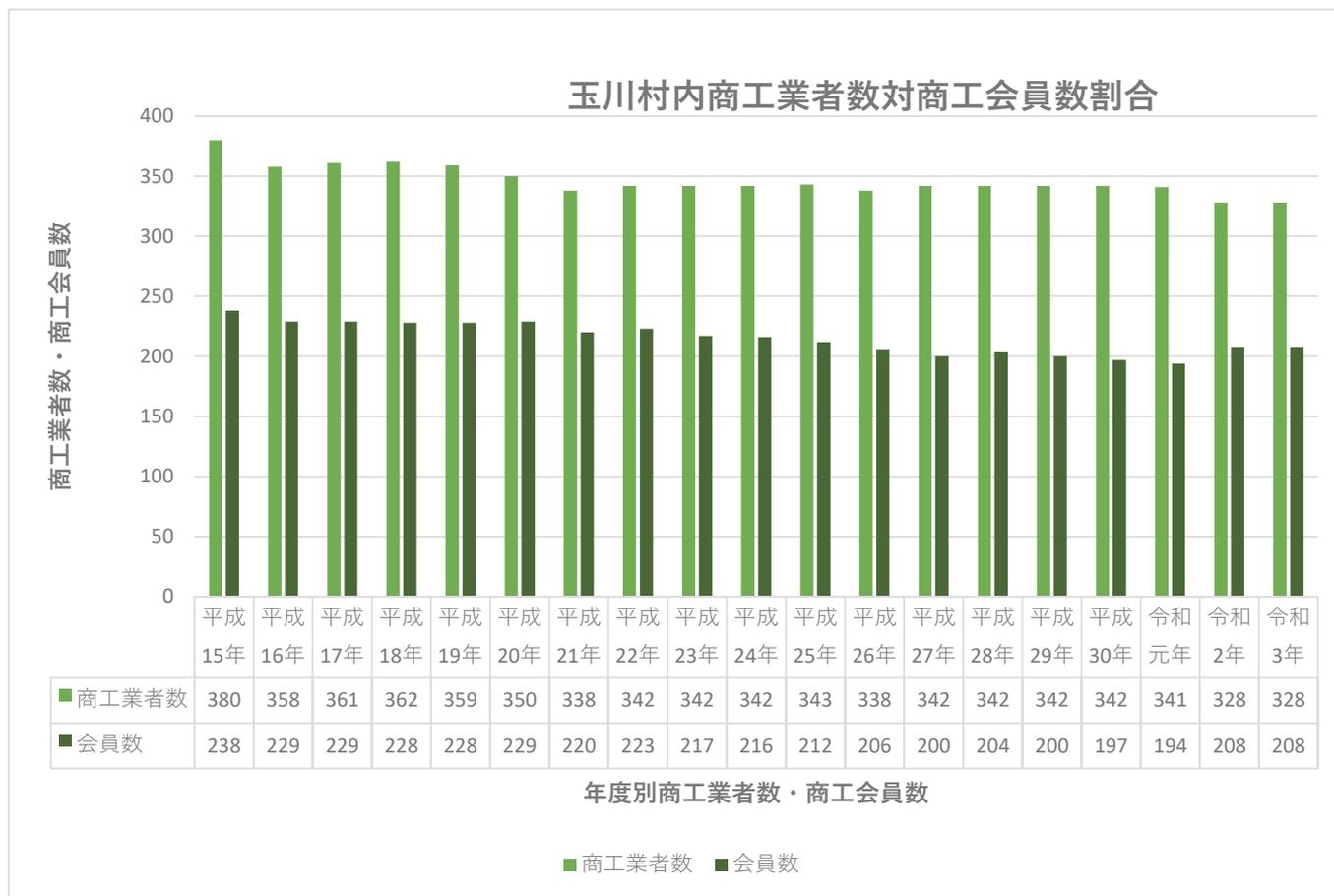
年度別組織率

商工業者・会員数・商工会組織率の推移

(過去の推移)(昭和59年度～令和3年度)

(平成14年度～令和3年度)

(各年度4月1日現在)



□年度別財政の推移

(過去60年間の推移)

(昭和36年度～昭和45年度)

(各年度3月31日現在)

(単位:円)

周 年	年 度 別	収 入 の 部 ()は自己財源						支 出 の 部					
		会費	匡・県 補助金	村補助金	手数料	その他	計	(参考) 自己財源	経 営 改 善 普 及 費	一 事 業 費	般 費	管 理 費	そ の 他
創業	昭和36年	0	0	120,000	0	11,944	131,944	11,944	0	83,027	48,917	131,944	
1	昭和37年	59,950	394,620	230,000	10,538	58,114	753,222	128,602	56,495	160,132	97,000	753,222	
2	昭和38年	59,500	406,780	300,000	16,440	627,445	1,410,165	703,385	594,280	348,486	45,345	1,410,165	
3	昭和39年	91,400	550,000	300,000	54,740	466,695	1,462,835	612,835	485,815	248,731	33,911	1,462,835	
4	昭和40年	144,960	698,000	400,000	79,526	719,979	2,042,465	944,465	858,670	301,804	63,982	2,042,465	
5	昭和41年	181,300	937,500	400,000	67,365	592,746	2,178,911	841,411	650,544	364,653	60,777	2,178,911	
6	昭和42年	218,880	1,099,200	500,000	89,120	598,835	2,506,035	906,835	578,662	451,654	50,359	2,506,035	
7	昭和43年	256,030	1,209,910	500,000	134,000	921,938	3,021,878	1,311,968	957,960	518,040	28,545	3,021,878	
8	昭和44年	251,510	1,384,024	650,000	309,000	1,058,434	3,652,968	1,618,944	1,086,370	713,398	51,411	3,652,968	
9	昭和45年	360,400	1,754,643	800,000	426,000	1,543,328	4,884,371	2,329,728	1,278,450	869,469	402,928	4,884,371	

□財源割合(グラフ)

昭和36年度～昭和45年度「収入額」



昭和36年度～昭和45年度「支出額」



□年度別財政の推移

(過去60年間の推移)

(昭和46年度～昭和55年度)

(各年度3月31日現在)

(単位:円)

周年	年度別	収入の部()は自己財源					支出の部						
		会費	国・県補助金	村補助金	手数料	その他	計	(参考)自己財源	経営改善普及費	一事業費	一般費	管理費	その他
10	昭和46年	364,200	1,918,550	1,000,000	391,000	1,904,711	5,578,461	2,659,911	2,780,535	1,605,000	859,031	333,895	5,578,461
11	昭和47年	379,400	2,215,544	1,300,000	444,000	1,776,836	6,115,780	2,600,236	3,077,594	1,394,862	1,116,906	526,418	6,115,780
12	昭和48年	499,000	2,681,700	1,500,000	548,000	2,473,104	7,701,804	3,520,104	3,956,876	2,122,610	1,263,129	359,189	7,701,804
13	昭和49年	738,500	3,704,361	1,800,000	770,000	2,522,422	9,535,283	4,030,922	5,609,509	2,097,570	1,556,462	271,742	9,535,283
14	昭和50年	792,700	4,915,355	1,800,000	1,276,575	4,053,030	12,837,660	6,122,305	6,470,959	2,174,896	1,629,056	2,562,749	12,837,660
15	昭和51年	827,700	5,676,361	2,000,000	1,357,785	3,018,349	12,880,195	5,203,834	7,952,066	2,473,445	1,946,816	507,868	12,880,195
16	昭和52年	1,299,450	6,143,113	2,300,000	1,713,436	6,238,968	17,694,967	9,251,854	8,552,774	3,114,420	2,467,609	3,560,164	17,694,967
17	昭和53年	1,324,800	7,140,860	2,600,000	2,105,551	3,511,767	16,682,978	6,942,118	9,471,219	3,155,045	3,325,401	731,313	16,682,978
18	昭和54年	1,473,550	7,770,497	3,000,000	2,653,188	4,031,930	18,929,165	8,158,668	10,008,094	3,716,370	4,876,115	328,586	18,929,165
19	昭和55年	1,494,000	7,525,600	3,500,000	2,290,000	3,764,986	18,574,586	7,548,986	9,848,720	3,716,000	4,767,890	241,976	18,574,586

□財源割合(グラフ)

昭和46年度～昭和55年度「収入額」



昭和46年度～昭和55年度「支出額」



□年度別財政の推移

(過去60年間の推移)

(昭和56年度～平成2年度)

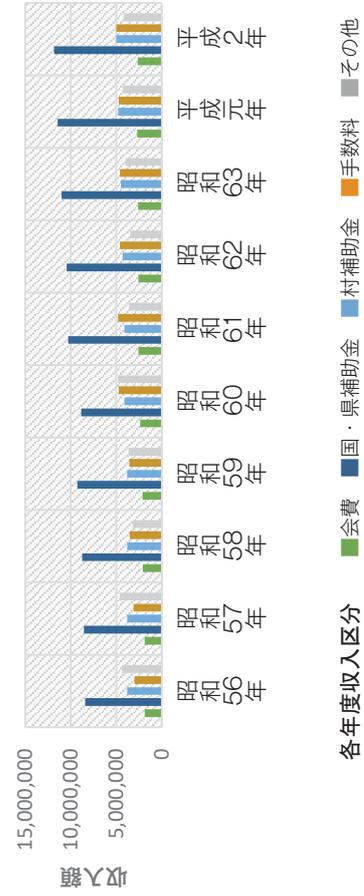
(各年度3月31日現在)

(単位:円)

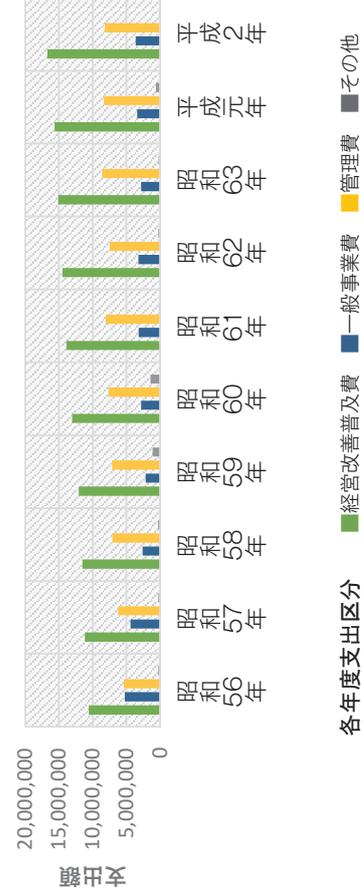
周年	年度別	収入の部						支出の部					
		会費	匡・県補助金	村補助金	手数料	その他	計	(参考)自己財源	経営改善普及	一事業費	一般費	管理費	その他
20	昭和56年	1,875,600	8,408,700	3,800,000	3,000,000	4,372,616	21,456,916	9,248,216	10,563,202	5,250,000	5,366,202	277,512	21,456,916
21	昭和57年	1,890,000	8,556,000	3,800,000	3,120,000	4,641,029	22,007,029	9,651,029	11,149,393	4,382,000	6,213,210	262,426	22,007,029
22	昭和58年	2,082,600	8,760,000	3,800,000	3,555,000	3,226,551	21,424,151	8,864,151	11,501,478	2,581,000	7,060,833	288,840	21,432,151
23	昭和59年	2,124,000	9,283,000	3,800,000	3,580,000	3,653,641	22,440,641	9,357,641	12,064,264	2,147,000	7,111,795	1,117,582	22,440,641
24	昭和60年	2,388,600	8,849,000	4,100,000	4,750,000	4,819,820	24,907,420	11,958,420	13,018,988	2,800,000	7,672,300	1,416,132	24,907,420
25	昭和61年	2,574,000	10,266,000	4,100,000	4,800,000	3,601,995	25,341,995	10,975,995	13,904,228	3,180,000	8,076,000	181,767	25,341,995
26	昭和62年	2,584,800	10,439,000	4,300,000	4,600,000	3,481,555	25,405,355	10,666,355	14,456,539	3,210,000	7,458,500	280,316	25,405,355
27	昭和63年	2,628,000	11,004,000	4,500,000	4,600,000	3,982,000	26,714,000	11,210,000	15,085,018	2,800,000	8,599,965	229,017	26,714,000
28	平成元年	2,700,000	11,444,000	4,800,000	4,750,000	4,284,000	27,978,000	11,734,000	15,649,718	3,380,000	8,327,000	621,282	27,978,000
29	平成2年	2,646,000	11,835,000	5,000,000	5,000,000	4,194,000	28,675,000	11,840,000	16,729,564	3,630,000	8,207,500	107,936	28,675,000

□財源割合(グラフ)

昭和56年度～平成2年度「収入額」



昭和56年度～平成2年度「支出額」

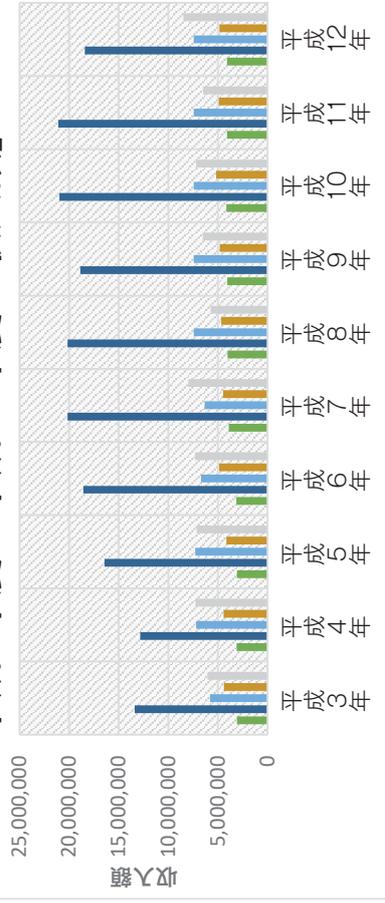


□年度別財政の推移 (各年度3月31日現在) (単位:円)

周年	収入の部(□は自己財源)						支出の部					
	会費	匡・県補助金	村補助金	手数料	その他	計	経営改善普及	一事業費	一般費	管理費	その他	計
30	3,093,600	13,383,000	5,800,000	4,396,224	6,047,295	32,720,119	18,338,206	4,669,440	8,931,247	781,226	32,720,119	
31	3,100,500	12,852,000	7,200,000	4,412,360	7,266,451	34,831,311	19,624,888	4,194,219	8,946,904	2,065,300	34,831,311	
32	3,096,450	16,450,000	7,300,000	4,165,002	7,152,381	38,163,833	23,633,518	3,724,746	10,709,712	95,657	38,163,833	
33	3,147,300	18,573,818	6,700,000	4,867,419	7,330,468	40,619,005	24,912,562	3,498,937	12,130,689	76,817	40,619,005	
34	3,899,800	20,152,000	6,350,000	4,473,808	8,007,722	42,883,330	27,199,311	3,441,965	12,043,833	198,221	42,883,330	
35	4,015,400	20,170,000	7,450,000	4,678,820	5,735,930	42,050,150	27,745,882	3,649,462	10,149,632	505,174	42,050,150	
36	4,047,200	18,867,000	7,450,000	4,811,837	6,543,887	41,719,924	25,261,091	5,010,812	9,481,245	1,966,776	41,719,924	
37	4,152,000	20,971,000	7,450,000	5,200,000	7,195,000	44,968,000	31,635,000	4,000,000	8,730,000	603,000	44,968,000	
38	4,102,600	21,118,000	7,450,000	4,906,168	6,502,079	44,078,847	28,089,844	4,969,585	10,605,623	413,795	44,078,847	
39	4,082,000	18,435,000	7,450,000	4,864,000	8,485,000	43,316,000	26,305,000	6,256,000	10,592,000	163,000	43,316,000	

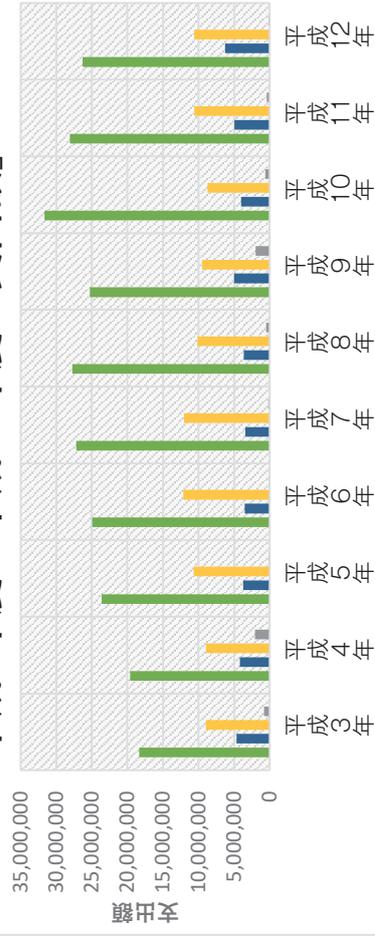
□財源割合(グラフ)

平成3年度～平成12年度「収入額」



各年度収入区分 会費 ■ 国・県補助金 ■ 村補助金 ■ 手数料 ■ その他

平成3年度～平成12年度「支出額」



各年度支出区分 経営改善普及 ■ 一般事業費 ■ 管理費 ■ その他

□年度別財政の推移

(過去60年間の推移)

(平成13年度～平成22年度)

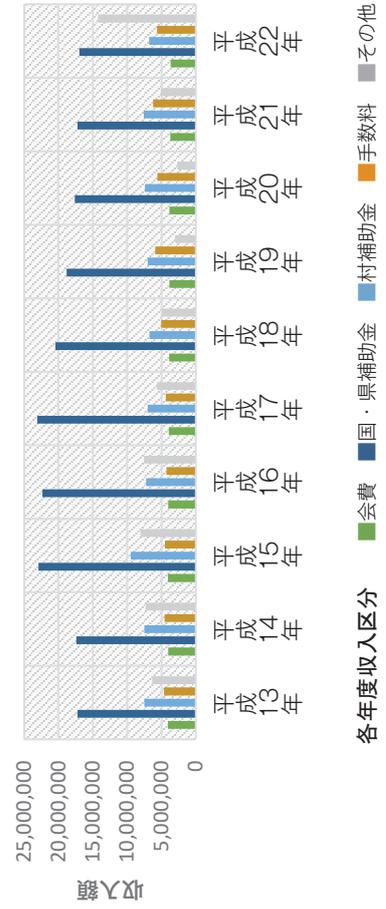
(各年度3月31日現在)

(単位:円)

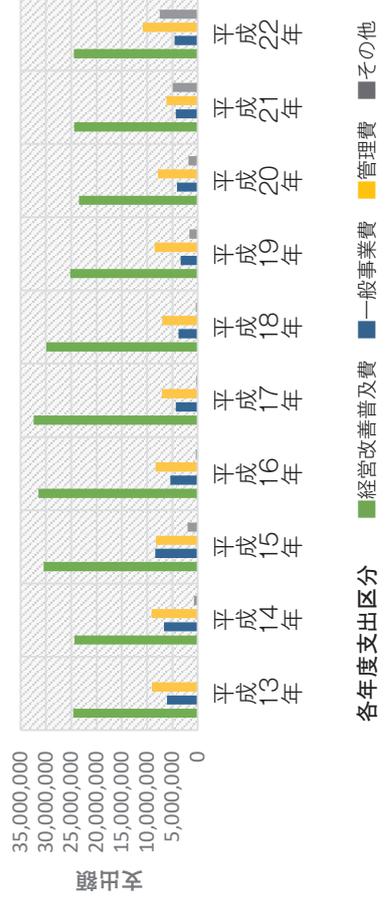
周 年	収 入 の 部 () は自己財源						支 出 の 部					
	会費	匡・県 補助金	村補助金	手数料	その他	計	(参考) 自己財源	経 営 改 善 普 及 費	一 事 業 費	般 費	管 理 費	そ の 他
40	4,079,000	17,224,000	7,500,000	4,644,000	6,370,000	39,817,000	15,093,000	24,579,000	6,059,000	9,030,000	149,000	39,817,000
41	4,022,000	17,420,000	7,500,000	4,546,000	7,343,000	40,831,000	15,911,000	24,322,000	6,641,000	9,131,000	737,000	40,831,000
42	4,088,000	22,923,000	9,500,000	4,530,000	8,065,000	49,106,000	16,683,000	30,420,000	8,395,000	8,296,000	1,995,000	49,106,000
43	4,037,000	22,335,000	7,250,000	4,303,000	7,558,000	45,483,000	15,898,000	31,433,000	5,387,000	8,302,000	361,000	45,483,000
44	3,953,000	23,094,000	7,000,000	4,395,000	5,671,000	44,113,000	14,019,000	32,439,000	4,295,000	7,044,000	335,000	44,113,000
45	3,895,000	20,447,000	6,750,000	5,037,000	4,898,000	41,027,000	13,830,000	29,884,000	3,758,000	7,002,000	383,000	41,027,000
46	3,851,400	18,846,000	7,000,000	5,929,094	3,028,437	38,654,931	12,808,931	25,171,062	3,342,372	8,495,996	1,645,501	38,654,931
47	3,838,800	17,652,000	7,400,000	5,592,058	2,682,996	37,165,854	12,113,854	23,463,809	4,059,551	7,832,149	1,810,345	37,165,854
48	3,705,000	17,237,000	7,600,000	6,209,000	5,080,000	39,831,000	14,994,000	24,424,000	4,310,000	6,204,000	4,893,000	39,831,000
49	3,688,800	16,994,000	6,780,000	5,638,757	14,248,802	47,350,359	23,576,359	24,452,288	4,547,186	10,861,069	7,489,816	47,350,359

□財源割合 (グラフ)

平成13年度～平成22年度「収入額」



平成13年度～平成22年度「支出額」

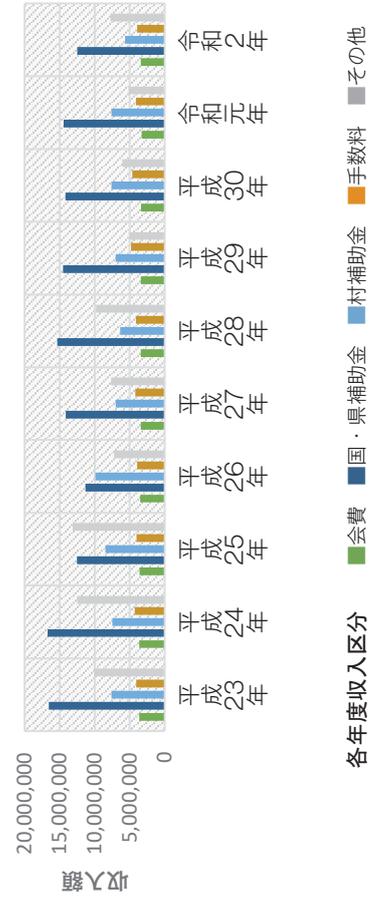


□年度別財政の推移 (過去60年間の推移) (平成23年度～令和2年度) (各年度3月31日現在) (単位:円)

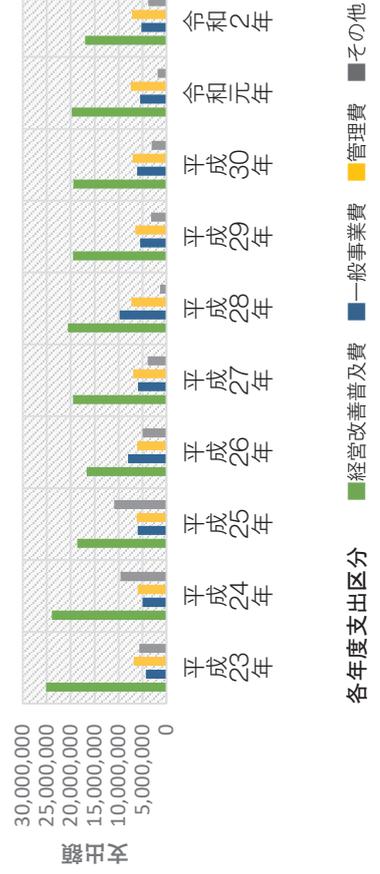
周年	年度別	収入の部()は自己財源						支出の部					
		会費	匡・県補助金	村補助金	手数料	その他	計	(参考)自己財源	経営改善普及費	一事業費	一般費	管理費	その他
50	平成23年	3,643,200	16,534,000	7,600,000	4,087,255	10,081,585	41,946,040	17,812,040	25,117,165	4,322,655	6,814,648	5,691,572	41,946,040
51	平成24年	3,633,600	16,695,000	7,465,000	4,294,091	12,502,784	44,590,475	20,430,475	23,930,257	5,036,995	6,003,078	9,620,145	44,590,475
52	平成25年	3,582,400	12,532,000	8,487,000	4,035,150	13,132,473	41,769,023	20,750,023	18,643,592	6,006,765	6,186,209	10,932,457	41,769,023
53	平成26年	3,510,800	11,301,000	9,900,000	3,942,744	7,225,097	35,879,641	14,678,641	16,669,375	8,042,425	6,135,299	5,032,542	35,879,641
54	平成27年	3,429,000	14,125,000	7,000,000	4,194,377	7,656,753	36,405,130	15,280,130	19,534,977	5,983,077	6,985,167	3,901,909	36,405,130
55	平成28年	3,407,600	15,317,000	6,362,000	4,122,545	9,824,947	39,034,092	17,355,092	20,561,521	9,796,862	7,354,239	1,321,470	39,034,092
56	平成29年	3,440,000	14,506,000	7,000,000	4,788,834	5,038,656	34,773,490	13,267,490	19,519,891	5,496,752	6,543,665	3,213,182	34,773,490
57	平成30年	3,369,200	14,149,000	7,600,000	4,621,051	6,075,245	35,814,496	14,065,496	19,468,984	6,114,940	7,113,143	3,117,429	35,814,496
58	令和元年	3,312,000	14,408,100	7,600,000	4,131,353	5,154,454	34,605,907	12,597,807	19,753,169	5,514,182	7,482,476	1,856,080	34,605,907
59	令和2年	3,432,200	12,464,640	5,650,000	3,952,813	7,716,787	33,216,440	15,101,800	16,980,497	5,255,526	7,197,894	3,782,523	33,216,440
60	※令和3年												

□財源割合(グラフ)

平成23年度～令和2年度「収入額」



平成23年度～令和2年度「支出額」



□年度別商工会のあゆみ

年月日	主な出来事
昭和36年度(1961年)	
S36.9.9	玉川村商工会設立総会 初代会長尾形量致氏就任
10.18	設立認可 11.6 設立登記
昭和37年度(1962年)	
S37.6.1	第1回通常総代会 会長 尾形量致氏重任 玉川村商工貯蓄組合設立 国民金融公庫協力会設立
12.15	第1回年末年始大売出し
昭和38年度(1963年)	
S38.5.19	第2回通常総代会
昭和39年度(1964年)	
S39.5.17	第3回通常総代会 会長 尾形量致氏重任 規約の一部改正
昭和40年度(1965年)	
S40.5.9	第4回通常総代会 役員2名補充 規約の一部改正
昭和41年度(1966年)	
S41.4.30	第5回通常総代会 会長 尾形量致氏重任 規約の一部改正
6.18	玉川村衣料組合設立
8.19	玉川サービスチェーン設立
S42.3.15	街路灯設置(40基)
昭和42年度(1967年)	
S42.4.30	第6回通常総代会 役員1名補充 規約の一部改正
S43.1.5	玉川村建設業組合設立
昭和43年度(1968年)	
S43.4.30	第7回通常総代会 会長 尾形量致氏重任 規約の一部改正
11.10	青年部設立 初代部長 本田鶴一氏就任
昭和44年度(1969年)	
S44.4.29	第8回通常総会
昭和45年度(1970年)	
S45.4.1	県行政改革により 県中地区に所属
4.30	第9回通常総代会 会長 尾形量致氏重任 規約の一部改正
昭和46年度(1971年)	
S46.4.29	第10回通常総代会
11.9	玉川青色申告会設立
昭和47年度(1972年)	
S47.4.27	第11回通常総代会 定款の一部改正 会長 塩澤直利氏就任
昭和48年度(1973年)	
S48.4.27	第12回通常総会 定款の一部改正 規約の一部改正
10.14	婦人部設立 初代部長 熊田ユキ氏就任

昭和36年度(創立年度)～昭和59年度

年月日	主な出来事
昭和49年度(1974年)	
S49.5.4	第13回通常総会 会長 塩澤直利氏重任
9.6	商工会館建設委員会発足
昭和50年度(1975年)	
S50.4.28	玉川地区食品衛生組合設立
5.2	第14回通常総会
8.10	臨時総会
10.7	商工会館上棟式
11.20	優良商工会として全国商工会連合会長より表彰
S51.2.10	商工会館落成 事務所を商工会館へ移転
昭和51年度(1976年)	
S51.5.6	商工会館落成式典
5.14	第15回通常総会 定款の一部改正 会長 塩澤直利氏重任
昭和52年度(1977年)	
S52.5.12	第16回通常総会 定款の一部改正 規約の一部改正
5.23	商工貯蓄共済事業県連表彰
11.23	第1回村内事業所優良従業員表彰式
昭和53年度(1978年)	
S53.5.1	第17回通常総会 会長 塩澤直利氏重任
12.5	労働保険事務組合県知事感謝状
昭和54年度(1979年)	
S54.5.11	第18回通常総会
12.22	会長 塩澤直利氏村助役就任
昭和55年度(1980年)	
S55.5.10	第19回通常総会 会長 双里正司氏就任 規約の一部改正
9.19	玉川商栄会設立
昭和56年度(1981年)	
S56.5.25	第20回通常総会 定款・規約の一部改正
9.9	商工会創立20周年記念式典
11.26	中小企業庁長官賞受賞
12.12	福島空港誘致総決起大会
昭和57年度(1982年)	
S57.5.10	第21回通常総会 会長 双里正司氏重任 定款の一部改正、運営規約の全国改正
9.26～28	塩田、山形空港視察研修
10.1	定款の一部改正
昭和58年度(1983年)	
S58.5.10	第22回通常総会 運営規約の一部改正
8.5	商業部会設立
昭和59年度(1984年)	
S59.5.10	第23回通常総会 会長 双里正司氏重任
6.2	会車購入
9.18	工業部会設立
9.25	建設部会設立

□年度別商工会のあゆみ

昭和60年度～平成21年度

年月日	主な出来事
昭和60年度（1985年）	
S60.5.10	第24回通常総会 規約の一部改正
11.9～10	商工まつり
昭和61年度（1986年）	
S61.5.9	第25回通常総会 会長 双里正司氏重任 運営規約の一部改正
8.13	花火大会
11.3	商業まつり
昭和62年度（1987年）	
S62.5.11	第26回通常総会 定款の一部改正
11.3	商業まつり
昭和63年度（1988年）	
S63.5.10	第27回通常総会 会長 双里正司氏重任
7.5	企業見学会と就職懇談会
8.13	玉川夏祭り（花火大会）
平成元年度（1989年）	
H元.5.12	第28回通常総会 運営規約の一部改正
7.4	企業見学会と就職懇談会
8.13	玉川夏祭り（花火大会）
11.3	商業まつり
平成2年度（1990年）	
H2.5.10	第29回通常総会
平成3年度（1991年）	
H3.5.10	第30回通常総会 定款、運営規約の一部改正
9.15	商工会創立30周年記念式典
H4.2.28	玉川酒販店会創立
平成4年度（1992年）	
H4.5.15	第31回通常総会 定款・運営規約の一部改正
9.27	福島空港まつり
10.4	玉川村民大運動会
H5.3.20	福島空港開港イベント
平成5年度（1993年）	
H5.5.14	第32回通常総会 規約の一部改正
6.17	地域資源調査事業実施
平成6年度（1994年）	
H6.5.13	第33回通常総会 定款の一部改正
6.8	玉川村商業活性化事業
6.18	地域特産品開発推進事業
平成7年度（1995年）	
H7.5.8	第34回通常総会 会長 古寺福喜氏重任
5.29	特産品等販路開拓支援事業
5.30	玉川村商業活性化事業
平成8年度（1996年）	
H8.5.10	第35回通常総会 規約の一部改正
7.1	玉川村地域振興支援事業

年月日	主な出来事
平成9年度（1997年）	
H9.5.12	第36回通常総会
平成10年度（1998年）	
H10.5.12	第37回通常総会 会長 古寺福喜氏重任
5.21	地域産業人材育成指導事業
平成11年度（1999年）	
H11.5.12	第38回通常総会
6.7	地域産業人材育成指導事業
平成12年度（2000年）	
H12.5.11	第39回通常総会 定款・運営規約の一部改正
7.1	インターネット活用情報交流事業
平成13年度（2001年）	
H13.5.10	第40回通常総会 会長 古寺福喜氏重任
11.29	隣家より出火し商工会館も被害を被った
平成14年度（2002年）	
H14.5.10	第41回通常総会
10.1	玉川村商工会館修繕竣工披露並びに特産品発表会
H15.3.20	福島空港開港10周年
平成15年度（2003年）	
H15.5.13	第42回通常総会
H16.3.31	インターネット活用情報交流 村特産品のホームページの活用アクセス件数7176件
平成16年度（2004年）	
H16.5.13	第43回通常総会 会長 境田孝意氏重任 定款・運営規約の一部改正
11.9～10	商工会役員等視察研修（山形県・宮城県）
平成17年度（2005年）	
H17.5.17	第44回通常総会 運営規約の一部改正
10.28～29	商工会役員等視察研修（栃木県）
平成18年度（2006年）	
H18.5.18	第45回通常総会 会長 境田孝意氏重任 定款・運営規約の一部改正
10.28～29	商工会役員等視察研修（岩手県）
平成19年度（2007年）	
H19.5.18	第46回通常総会 定款・運営規約の一部改正
7.19	玉川村プレミアム共通商品券発行
平成20年度（2008年）	
H20.5.16	第47回通常総会 運営規約の一部改正
8.13	玉川夏祭り 20周年記念イベント
9.25～28	商工会役員等視察研修（上海・杭州方面）
H21.2.1	石川方部広域連携協議会 無料職業紹介所開設
平成21年度（2009年）	
H21.5.15	第48回通常総会 会長 境田孝意氏重任 定款・運営規約の一部改正
H22.1.4	プレミアム共通商品券 タイアップ事業抽選会（大阪・札幌各1組ペア搭乗・宿泊券）

□年度別商工会のあゆみ

平成 22 年度～令和 2 年度

年月日	主な出来事
平成 22 年度 (2010 年)	
H22.5.14	第 49 回通常総会
平成 23 年度 (2011 年)	
H23.5.18	第 50 回通常総会 役員補充選任
8～	玉川村商工会創立 50 周年記念事業推進
8.13	復興祈願花火打ち上げ
H24.3	会員事業所 PR パンフレット発行
平成 24 年度 (2012 年)	
H24.4～	復旧・復興支援事業の実施
5.3	福島空港「エアポート復活祭」参加
5.16	第 51 回通常総会 会長 岩谷幸雄氏就任 定款・運営規約の一部改正
10.28	玉川村産業祭り (村共催)
平成 25 年度 (2013 年)	
H25.4～	復旧・復興支援事業の実施
5.15	第 52 回通常総会 役員の補充選任 運営規約の一部改正
6.19	東京ビッグサイト他視察
平成 26 年度 (2014 年)	
H26.4～	復旧・復興支援事業の実施
5.3	福島空港「エアポート復活祭」
5.15	第 53 回通常総会 定款・運営規約の一部改正
平成 27 年度 (2015 年)	
H27.4～	復旧・復興支援事業の実施
5.13	第 54 回通常総会 会長 岩谷幸雄氏重任 運営規約の一部改正
7～	玉川村住宅リフォーム緊急支援事業
7～	商工会員マップ改訂版発行
平成 28 年度 (2016 年)	
H28.5.14	福島空港「ふくしまおおぞらフェスタ」参加
5.26	第 55 回通常総会 運営規約の一部改正
11.22～26	台湾鹿谷郷表敬訪問

年月日	主な出来事
平成 29 年度 (2017 年)	
H29.5.14	第 56 回通常総会 役員補充選任 労働保険事務組合事務処理規約の一部改正
6.21	先進地視察研修 (ニッサン自動車他)
8.13	玉川夏祭り 第 1 回たまかわ水合戦
11.5	たまかわ産業フェスティバル
11.8～9	新規販路開拓及び技術力 PR 展示会出展
平成 30 年度 (2018 年)	
H30.5.16	第 57 回通常総会 会長 岩谷幸雄氏重任 定款・運営規約の一部改正
9.15	福島空港「空の日フェスティバル」
9.29	全国さるなし・こくわサミット
11.29	村内主要企業と村との懇談会
令和元年度 (2019 年)	
R 元 .5.17	第 58 回通常総会 役員の補充選任 定款の一部改正
7～	玉川生活応援事業商品券発行
9.29	たまかわさるなしウォーク
11.21～24	福島空港利活用村民の翼 台湾訪問
R2.3～	新型コロナ影響感染防止 各種対策支援事業の取組み
令和 2 年度 (2020 年)	
R2.5.27	第 59 回通常総会 (書面決議) 定款・運営規約の一部改正
6～	玉川村新型コロナウイルス感染症経済対策事業 ①商店活性化・住民生活応援商品券発行事業 「たまかわ絆商品券」 ②中小企業等感染拡大防止事業 ③中小企業等経営支援事業 ④玉川村プレミアム商品券発行事業 「たまかわエール商品券」

石川方部商工会広域連携協議会による経営発達支援計画及び事業推進内容

★経営発達支援計画の概要 (国の制度)

■実施期間 平成 30 年度～令和 4 年度

- 事業内容
- 地域の経済動向調査に関すること
 - ・地区内小規模事業者の現状調査
 - 経営状況の分析に関すること
 - ・「ローカルベンチマークシート」を活用し財務・非財務の分析し、小規模事業者の事業計画策定へ活用を支援する。
 - 事業計画策定支援に関すること
 - ・経営状況の分析を実施した小規模事業者の事業計画策定を支援する。
 - ・経営セミナーの開催により事業計画策定事業者の発掘と策定を支援する。
 - ・創業発掘と促進に向けた、セミナーの開催による事業計画策定を支援する。
 - 事業計画の策定後の実施支援関係
 - ・事業計画の進捗管理とフォローアップ
 - ・各種施策の情報提供と活用を支援する。
 - ・事業計画達成に必要な資金の支援
 - ・第 2 操業事業承継者のフォローアップ
 - ・地域資源を活用した 6 次化事業者のフォローアップ
 - 需要動向調査に関すること

- ・マーケティング調査の実施と当該商品
- ・サービスの業界動向
- ・個別商品の需要動向の情報収集と分析の活用による事業計画策定
- 6. 新たな需要の開拓に気湯する事業に関すること
 - ・地域資源を活用した 6 次化商品の PR
 - ・地域資源を活用した 6 次化商品の PR
 - ・IT 活用による新たな需要を開拓するための経営スキル向上支援
- 7. 地域経済の活性化に資する取組
 - ・行政懇談会による地域課題の共有と改善へ向けた取組みを実施する
 - ・石川地区内の地域交流人口の増加への取組みを実施する

「経営革新等支援機関認定」

平成 24 年 8 月 30 日に「中小企業経営力強化支援法」(中小企業等経営強化法)が施行され、中小企業に対して専門性の高い支援事業を行う経営革新等支援機関を認定する制度が創設された。
当商工会は、中小企業に対して専門性の高い支援体制が整備されている団体として認定登録がされました。
認定支援機関 ID : 100507000507 認定日 : 2013 年 4 月 26 日

□歴代役員一覧

(昭和36年度～昭和45年度)

年度 職名	昭和36年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度
会長	尾形 量致									
副会長	丹内 栄一	丹内 栄一	丹内 栄一	塩澤 直利						
〃	塩澤 直利	塩澤 直利	塩澤 直利	関根 源一	関根 源一	本田 栄勝				
理事	辻 勝源	辻 勝源	辻 勝源	丹内 栄一	丹内 栄一	野崎 幸男				
〃	須藤 正男	須藤 正男	須藤 正男	熊田 清義						
〃	真弓 常作	藁谷正之助	藁谷正之助	藁谷正之助	藁谷正之助	藁谷正之助				
〃	本田 栄勝	添田 毅								
〃	関根 源一	関根 源一	関根 源一	高原 茂	高原 茂	曲山 正雄				
〃	藤田 光一	藤田 光一	藤田 光一	双里 正司						
〃	橋本満寿子	橋本満寿子	橋本満寿子	橋本 秋明	橋本 秋明	溝井 文一				
〃	古寺 長重									
〃	小林 尚	小林 尚	小林 尚	小林 覚治	矢吹 市三					
〃	仁井田勝信	仁井田勝信	仁井田勝信	小林 吉伊						
〃	大越 力夫	円谷 直茂	円谷 直茂	円谷 直茂	円谷 直茂	松田 功				
〃	小針 好平	小針 好平	小原 澄夫	円谷 嘉彰	円谷 嘉彰	円谷 嘉彰	円谷 嘉彰	大野 貞夫	大野 貞夫	大野 貞夫
〃	関根 資郎	関根 資郎	関根 資郎	渡辺 源二	渡辺 源二	渡辺 源二	渡辺 源二	瀬谷 吉祐	瀬谷 吉祐	塩沢 重義
〃	瀬谷 吉祐	瀬谷 吉祐	瀬谷 吉祐	塩沢 重義	塩沢 重義	塩沢 重義	塩沢 重義	関根 資郎	関根 資郎	矢吹吉之助
〃	鈴木 義尚	鈴木 義尚	鈴木 義尚	佐藤 計策	佐藤 計策	矢吹 常雄	矢吹 常雄	鈴木 義尚	鈴木 義尚	鈴木 義尚
〃	鈴木 利行	関根 新吉	関根 新吉	関根 新吉						
〃	吉田 久夫	吉田 久夫	吉田 久夫	塩田 久夫	塩田 久夫	塩田 久夫	石井 貞二	塩田 正夫	塩田 正夫	塩田 正夫
監事	小針 安司	小針 安司	小針 安司	小原 澄夫	小原 澄夫	矢部 文昌				
〃	塩沢今朝松	塩沢今朝松	塩沢今朝松	矢部 文昌	矢部 文昌	佐藤 計策	佐藤 計策	大木 吉丸	大木 吉丸	大木 吉丸
青年部長	—	—	—	—	—	—	—	本田 鶴一	本田 鶴一	本田 鶴一
婦人部長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

□在職職員一覧

年度 職名	昭和36年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度
事務局長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
経営 指導員	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛						
補助員			首藤 武子	大越 専						
							大越 専 (車田美恵子)	車田美恵子	車田美恵子	車田美恵子
記帳指導 職員							車田美恵子	熊田 正次	熊田 正次	(熊田 正次)
										瀬谷 栄子
一般職員							(大越 専)			

□歴代役員一覧

(昭和46年度～昭和55年度)

年度 職名	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度
会 長	尾形 量致	塩澤 直利	双里 正司							
副会長	塩澤 直利	古寺 長重	古寺 長重	古寺 長重	古寺 長重	双里 正司	双里 正司	双里 正司	双里 正司	首藤 信勝
理 事	本田 栄勝	曲山 正雄	曲山 正雄	首藤 信勝	塩沢 昌久					
理 事	野崎 幸男	鈴木 嘉直								
理 事	熊田 清義	鈴木 嘉直	鈴木 嘉直	鈴木 嘉直	鈴木 嘉直	円谷 昌康				
理 事	藁谷正之助	渡辺 利司								
理 事	添田 毅	本田 鶴一	本田 鶴一	本田 鶴一						
理 事	曲山 正雄	円谷 嘉彰	小原 保	小原 保	曲山 正雄					
理 事	双里 正司	遠藤 菊男	遠藤 菊男	古寺 福喜	古寺 福喜	溝井源三郎				
理 事	溝井 文一									
理 事	古寺 長重	首藤 信勝	首藤 信勝	曲山 正雄	曲山 正雄	曲山 正雄	曲山 正雄	車田 勝美	車田 勝美	車田 勝美
理 事	矢吹 市三	大竹 好雄	大竹 好雄	矢吹 市三	矢吹 市三	矢吹 市三	矢吹 市三	小林 覚一	小林 覚一	鈴木 吉之
理 事	小林 吉伊									
理 事	松田 功	鈴木 利夫	古寺 福喜							
理 事	大野 貞夫	大野 貞夫	大野 貞夫	小原 澄夫	小原 澄夫	小原 澄夫	小原 澄夫	鈴木 武士	鈴木 武士	小原 澄夫
理 事	塩沢 重義	渡辺 源二	渡辺 源二	塩沢 重義	塩沢 重義	塩沢 重義	塩沢 重義	石井 貞二	石井 貞二	遠藤 菊男
理 事	矢吹吉之助	石井 貞二	石井 貞二	塩沢 昌久	石井 貞二					
理 事	鈴木 義尚	円谷 直成								
理 事	関根 新吉	車田 永男	溝井源三郎	溝井源三郎	有賀 重夫					
理 事	塩田 正夫	石森 米勝	石森 米勝	石森 米勝	石森 米勝	塩田征二郎	塩田征二郎	石森 米勝	石森 米勝	草野 馥次
監 事	矢部 文昌	辻 勝源	白沢 敏	白沢 敏	円谷 房夫					
監 事	大木 吉丸	大木 吉丸	大木 吉丸	小山田正直	小山田正直	円谷 房夫	円谷 房夫	円谷 房夫	円谷 房夫	野崎 幸男
青年部長	本田 鶴一	本田 鶴一	古寺 福喜	古寺 福喜	古寺 福喜	古寺 福喜	小原 重孝	小原 重孝	小原 重孝	小原 重孝
婦人部長	—	—	熊田 ヌキ	石井 実	石井 実					

□在職職員一覧

年度 職名	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度
事務局長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
経営指導員	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛
補助員	車田恵美子 (車田恵美子)	塩沢 利一								
記帳専任職員	—	—	—	—	—	—	—	佐藤 俊恵	佐藤 俊恵	佐藤 俊恵
記帳指導職員	瀬谷 栄子	(瀬谷栄子)	高原 俊恵	高原 俊恵	高原 俊恵	佐藤 俊恵	佐藤 俊恵			
一般職員		(塩沢利一)							瀬谷 房之	瀬谷 房之

□歴代役員一覧

(昭和56年度～平成2年度)

年度 職名	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
会 長	双里 正司	双里 正司	双里 正司							
副会長	首藤 信勝	鈴木 吉之	鈴木 吉之	鈴木 吉之	鈴木 吉之	古寺 福喜	古寺 福喜	古寺 福喜	車田 明	車田 明
理 事	小林 吉伊	小原 澄夫	小原 澄夫	小原 澄夫						
理 事	鈴木 嘉直	石川 金六	石川 金六	石川 金六	石川 金六	石川 金六				
理 事	円谷 昌康	円谷 昌康	円谷 昌康							
理 事	渡辺 利司	熊田 藤喜	熊田 藤喜	熊田 藤喜						
理 事	本田 鶴一	本田 鶴一	佐久間昌迪	佐久間昌迪	佐久間昌迪	佐久間昌迪	佐久間昌迪	佐久間昌迪	佐藤 貞雄	佐藤 貞雄
理 事	曲山 正雄	小原 重孝	車田 明	小原 重孝	小原 重孝					
理 事	溝井源三郎	溝井源三郎	小原 重孝	須釜 義勝	須釜 義勝					
理 事	溝井 文一	車田 明	溝井源三郎	溝井源三郎	溝井源三郎	須釜 義勝	須釜 義勝	須釜 義勝	小林 功	小林 功
理 事	車田 勝美	車田 勝美	本田 鶴一	本田 鶴一	本田 鶴一	草野 馥次	草野 馥次	草野 馥次	矢吹 重美	矢吹 重美
理 事	鈴木 吉之	小林 清和	車田 勝美	草野 馥次	草野 馥次	小針 常美	小針 常美	小針 常美	小針 常美	小針 常美
理 事	塩沢 昌久	佐久間昌迪	小林 富重	小林 富重	小林 富重	湯沢 金市	湯沢 金市	湯沢 金市	境田 孝意	境田 孝意
理 事	古寺 福喜	小林 徳清	小林 徳清	小林 徳清	小林 徳清	小林 徳清				
理 事	小原 澄夫	小林 富重	小林 清和	小林 清和	小林 清和	圓谷 忠重	圓谷 忠重	圓谷 忠重	大野 健一	大野 健一
理 事	遠藤 菊男	大野 貞夫	大野 貞夫	圓谷 忠重	圓谷 忠重	篠原 一三	篠原 一三	篠原 一三	篠原 一三	篠原 一三
理 事	石井 貞二	国井 正孝	国井 正孝	国井 正孝	国井 正孝	松田 功	松田 功	松田 功	松田 功	松田 功
理 事	円谷 直成	塩沢 良国	塩沢 良国	塩沢 良国	塩沢 良国	塩沢 良国				
理 事	有賀 重夫	塩田 好一	塩田 好一	塩田 好一	塩田 好一	榊枝 金作	榊枝 金作	榊枝 金作	榊枝 金作	榊枝 金作
理 事	草野 馥次	榊枝 金作	榊枝 金作	榊枝 金作	榊枝 金作	溝井 清二	溝井 清二	溝井 清二	溝井 清二	溝井 清二
理 事 (青年部長)	遠藤 潔	遠藤 潔	金子 好美	金子 好美	熊田 喜男	熊田 喜男	小林 功	小林 功	石井源三郎	石井源三郎
理 事 (婦人部長)	石井 実	首藤みさを	首藤みさを							
理 事										
理 事										
理 事										
監 事	円谷 房夫	須釜 義勝	須釜 義勝	車田 勝美	車田 勝美	車田 勝美				
監 事	野崎 幸男	草野 馥次	草野 馥次	大野 貞夫	国井 正孝	国井 正孝				

□在職職員一覧

年度 職名	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
事務局長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
経営 指導員	車田 喜衛	車田 喜衛	車田 喜衛							
補助員	瀬谷 房之	瀬谷 房之	瀬谷 房之							
記帳専任 職員	佐藤 俊恵	佐藤 俊恵	佐藤 俊恵							
一般職員	(塩沢利一)	塩沢 正人	鈴木 健一	鈴木 健一	鈴木 健一					

□歴代役員一覧

(平成3年度～平成12年度)

年度 職名	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
会 長	双里 正司	双里 正司	双里 正司	双里 正司	古寺 福喜	古寺 福喜	古寺 福喜	古寺 福喜	古寺 福喜	古寺 福喜
副会長	小原 澄夫	小原 澄夫	小原 澄夫	小原 澄夫	境田 孝意	境田 孝意	境田 孝意	境田 孝意	境田 孝意	境田 孝意
〃	車田 明	境田 孝意	境田 孝意	境田 孝意	円谷 昌康	円谷 昌康	円谷 昌康	石井源三郎	石井源三郎	石井源三郎
理 事	熊田 藤喜	熊田 藤喜	熊田 藤喜	熊田 藤喜	味原 稔	味原 稔	味原 稔	味原 稔	味原 稔	味原 稔
〃	円谷 昌康	円谷 昌康	円谷 昌康	円谷 昌康	須藤 利弘	須藤 利弘	須藤 利弘	須藤 利弘	須藤 利弘	須藤 利弘
〃	石川 金六	石川 金六	石川 金六	石川 金六	角田 克彦	角田 克彦	角田 克彦	角田 克彦	角田 克彦	角田 克彦
〃	篠原 一三	鈴木 繫一	鈴木 繫一	鈴木 繫一						
〃	佐藤 貞雄	佐藤 貞雄	佐藤 貞雄							
〃	小原 重孝	小原 重孝	小原 重孝							
〃	石井源三郎	真弓 善次	真弓 善次	真弓 善次						
〃	小林 功	車田 勝美	須釜 義勝	須釜 義勝	双里 正輝	双里 正輝	双里 正輝	双里 正輝	双里 正輝	双里 正輝
〃	小針 常美	小林 功	小林 功	小林 功	永林 詔八	永林 詔八	永林 詔八	永林 詔八	永林 詔八	永林 詔八
〃	小林 徳清	小針 常美	小針 常美	小針 常美	塩澤 直一	塩澤 直一	塩澤 直一	塩澤 直一	塩澤 直一	塩澤 直一
〃	大野 健一	小林 徳清	小林 徳清	小林 徳清						
〃	松田 功	大野 健一	大野 健一	大野 健一						
〃	塩澤 良國	松田 功	井手 達郎	井手 達郎	井手 達郎					
〃	矢吹 重美	塩澤 良國	塩澤 良國	塩澤 良國						
〃	榊枝 金作	矢吹 重美	矢吹 重美	矢吹 重美						
〃	溝井 清二	榊枝 金徳	榊枝 金徳	榊枝 金徳						
〃	境田 孝意	溝井 清二	溝井 清二	溝井 清二	塩田 豊彦	塩田 豊彦	塩田 豊彦	塩田 豊彦	塩田 豊彦	塩田 豊彦
〃 (青年部長)	関根 文夫	関根 文夫	野崎 一幸	野崎 一幸	小山田健男	小山田健男	大木 吉永	大木 吉永	車田 幸司	車田 幸司
〃 (婦人部長)	首藤みさを	首藤みさを	首藤みさを	首藤みさを	円谷カツヨ	円谷カツヨ	石井マサ子	石井マサ子	石井マサ子	石井マサ子
監 事	車田 勝美	榊枝 金作	榊枝 金作	榊枝 金作	溝井 清二	溝井 清二	溝井 清二	村越 勝	村越 勝	村越 勝
〃	国井 正孝	国井 正孝	国井 正孝	国井 正孝	圓谷 忠重	圓谷 忠重	圓谷 忠重	圓谷 忠重	圓谷 忠重	圓谷 忠重

□在職職員一覧

年度 職名	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
事務局長	—	車田 喜衛	須藤 幸一	駒橋 正男	駒橋 正男					
経営 指導員	車田 喜衛	穂積 俊一	穂積 俊一	穂積 俊一						
補助員	鈴木 健一	佐藤 俊恵	佐藤 俊恵	佐藤 俊恵	内田 禮子	南條 光徳				
記帳専任 職員	佐藤 俊恵	南條 光徳	南條 光徳	南條 光徳	南條 光徳	竹内 茜				
記帳指導 職員						竹内 茜	竹内 茜	竹内 茜	竹内 茜	草野美恵子
一般職員					南條 光徳					

□歴代役員一覧

(平成13年度～平成22年度)

年度 職名	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
会長	古寺 福喜	古寺 福喜	古寺 福喜	境田 孝意						
副会長	境田 孝意	境田 孝意	境田 孝意	石井源三郎	石井源三郎	石井源三郎	石井源三郎	石井源三郎	飯島 三郎	飯島 三郎
〃	石井源三郎	石井源三郎	石井源三郎	小原 重孝	小原 重孝	佐藤 貞雄	佐藤 貞雄	佐藤 貞雄	遠藤 潔	遠藤 潔
理事	須藤 利弘	野崎 一幸	野崎 一幸							
〃	味原 稔	須藤 喜市	須藤 喜市							
〃	井手 達郎	井手 達郎	井手 達郎	関根 照雄						
〃	真弓 善次	曲山 峰男	曲山 峰男							
〃	佐藤 貞雄	関根 文夫								
〃	小原 重孝	小原 重孝	小原 重孝	遠藤 潔	小原 良友	小原 良友				
〃	角田 克彦	岩谷 幸雄								
〃	永林 詔八									
〃	双里 正輝	遠藤 昇一	遠藤 昇一							
〃	小林 徳清	小林 徳清	小林 徳清	相楽 正雄						
〃	大野 健一									
〃	塩澤 良國									
〃	鈴木 繁一									
〃	塩澤 直一									
〃	矢吹 重美	鈴木 英雄								
〃	榊枝 金徳	瀬谷 吉利								
〃	塩田 豊彦	塩田 豊彦	塩田 豊彦	塩田 昭夫	塩田 昭夫	草野 正美				
〃 (青年部長)	円谷 昌彦	円谷 昌彦	車田 信彦	車田 信彦	遠藤 昇一	遠藤 昇一	曲山 知宏	曲山 知宏	鈴木 栄二	鈴木 栄二
〃 (女性部長)	石井マサ子	石井マサ子	石井マサ子	石井マサ子	石井マサ子	石井マサ子	高原志乃婦	高原志乃婦	高原志乃婦	高原志乃婦
監事	大木 実	大木 実	大木 実	飯島 三郎	石井源三郎	石井源三郎				
〃	圓谷 忠重	小原 重孝								

□在職職員一覧

年度 職名	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事務局長	駒橋 正男	鈴木 四郎	鈴木 四郎	鈴木 四郎	鈴木 四郎	鈴木 四郎	大和田豊隆	野口 庄嗣	野口 庄嗣	車田 勝一
	(鈴木四郎)					(大和田豊隆)	(野口庄嗣)		(車田勝一)	
経営指導員	穂積 俊一	穂積 俊一	穂積 俊一	植野公一郎	植野公一郎	植野公一郎	藤田 達夫	藤田 達夫	藤田 達夫	藤田 達夫
			大木弘幸	大木 弘幸	大木 弘幸	大木 弘幸	室田 治郎	室田 治郎	渡邊 和彦	渡邊 和彦
			(植野公一郎)			(藤田達夫)		(渡邊和彦)		
						(室田治郎)				
補助員						南條 光徳	南條 光徳	南條 光徳	南條 光徳	南條 光徳
						近藤 茜	近藤 茜	近藤 茜	近藤 茜	近藤 茜
										(上野はる江)
記帳専任職員	南條 光徳	南條 光徳	南條 光徳	南條 光徳	南條 光徳	—	—	—	—	—
記帳指導職員	竹内 茜	竹内 茜	竹内 茜	竹内 茜	竹内 茜	草野美恵子	草野美恵子			
	草野美恵子	草野美恵子	草野美恵子	草野美恵子	草野美恵子					
一般職員										

□歴代役員一覧

(平成23年度～令和2年度)

年度 職名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
会 長	境田 孝意	岩谷 幸雄	岩谷 幸雄	岩谷 幸雄	岩谷 幸雄	岩谷 幸雄	岩谷 幸雄	岩谷 幸雄	岩谷 幸雄	岩谷 幸雄
副会長	飯島 三郎	関根 照雄	関根 照雄	関根 照雄	鈴木 繁一	鈴木 繁一	鈴木 繁一	野崎 一幸	野崎 一幸	野崎 一幸
〃	遠藤 潔	鈴木 繁一	鈴木 繁一	鈴木 繁一	野崎 一幸	野崎 一幸	野崎 一幸	古寺 貴栄	古寺 貴栄	古寺 貴栄
理 事	鈴木 繁一	相楽 正雄	相楽 正雄	相楽 正雄	相楽 正雄	相楽 正雄	相楽 正雄	車田 文昭	車田 文昭	車田 文昭
〃	野崎 一幸	小原 良友	小原 良友	小原 良友	小原 良友	小原 良友	小原 良友	相楽 正雄	相楽 正雄	相楽 正雄
〃	相楽 正雄	瀬谷 吉利	瀬谷 吉利	瀬谷 吉利	瀬谷 吉利	瀬谷 吉利	瀬谷 吉利	草野 芳信	草野 芳信	草野 芳信
〃	小原 良友	草野 正美	草野 正美	草野 正美	草野 正美	草野 正美	草野 正美	曲山 峰男	曲山 峰男	曲山 峰男
〃	瀬谷 吉利	須釜 貞幸	須釜 貞幸	須釜 貞幸	車田 文昭	車田 文昭	車田 文昭	関根 英樹	関根 英樹	関根 英樹
〃	草野 正美	車田 文昭	車田 文昭	車田 文昭	須藤 喜市	須藤 喜市	須藤 喜市	塩田 眞一	塩田 眞一	塩田 眞一
〃	須藤 喜市	須藤 喜市	須藤 喜市	須藤 喜市	草野 芳信	草野 芳信	草野 芳信	仁井田武男	仁井田武男	仁井田武男
〃	曲山 峰男	野崎 一幸	野崎 一幸	野崎 一幸	曲山 峰男	曲山 峰男	曲山 峰男	圓谷 久	圓谷 久	圓谷 久
〃	関根 文夫	草野 芳信	草野 芳信	草野 芳信	関根 英樹	関根 英樹	関根 英樹	関根 正己	関根 正己	関根 正己
〃	永林 詔八	曲山 峰男	曲山 峰男	曲山 峰男	古寺 貴栄	古寺 貴栄	古寺 貴栄	鈴木 栄二	鈴木 栄二	鈴木 栄二
〃	岩谷 幸雄	関根 英樹	関根 英樹	関根 英樹	塩田 眞一	塩田 眞一	塩田 眞一	車田 幸司	車田 幸司	車田 幸司
〃	鈴木 英雄	塩田 眞一	塩田 眞一	塩田 眞一	仁井田武男	仁井田武男	仁井田武男	江幡 英一	江幡 英一	江幡 英一
〃	塩澤 良國	遠藤 昇一	古寺 貴栄	古寺 貴栄	圓谷 久	圓谷 久	圓谷 久	片寄富士美	片寄富士美	片寄富士美
〃	塩澤 直一	仁井田武男	仁井田武男	仁井田武男	関根 正己	関根 正己	関根 正己	(理事定数 削減)		
〃	大野 健一	圓谷 久	圓谷 久	圓谷 久	鈴木 栄二	鈴木 栄二	鈴木 栄二			
〃 (青年部長 24年度～)	関根 照雄	小針 竜哉	井手 浩智	井手 浩智	石森 誠	石森 誠	小林 幸正	小林 幸正	佐藤 明	佐藤 明
〃 (女性部長 24年度～)	遠藤 昇一	高原志乃婦	鈴木真理子	鈴木真理子	鈴木真理子	鈴木真理子	鈴木真理子	鈴木真理子	鈴木真理子	鈴木真理子
〃 (青年部長)	小針 竜哉	(理事定数 削減)								
〃 (女性部長)	高原志乃婦									
監 事	小原 重孝	飯島 三郎	飯島 三郎	飯島 三郎	飯島 三郎	飯島 三郎	飯島 三郎	鈴木 繁一	鈴木 繁一	鈴木 繁一
〃	石井源三郎	関根 文夫	関根 文夫	関根 文夫	関根 文夫	関根 文夫	関根 文夫	瀬谷 吉利	瀬谷 吉利	瀬谷 吉利

□在職職員一覧

年度 職名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事務局長	車田 勝一	車田 勝一	車田 勝一	—	—	増子 貞美	増子 貞美	小針 弘	小針 弘	瀬谷 房之
経 営 指 導 員	藤田 達夫	藤田 達夫	渡邊 和彦	渡邊 和彦	市川 浩昭	市川 浩昭	(市川浩昭)	湯田 晋介	湯田 晋介	(湯田晋介)
	渡邊 和彦	渡邊 和彦					湯田 晋介			古澤 貴弘
経 営 支 援 員 (補助員)	上野はる江	上野はる江	上野はる江	(上野はる江)	(鈴木千代美)	根本 節子	根本 節子	根本 節子	根本 節子	尾股 み咲
	近藤 茜	根本 節子	根本 節子	根本 節子	根本 節子	尾股 み咲	尾股 み咲	尾股 み咲	尾股 み咲	南條 光徳
		(近藤 茜)		鈴木千代美	尾股 み咲					

□60周年(令和3年度)時の主な記念事業

1. 記念誌発行 (本誌) 250冊作成(会員事業所等へ配布)
※玉川村商工会HPにアップいたします。

2. 玉川村観光案内板設置
(玉川村商工会50周年時設置した案内板のリニューアル設置)

設置個所 4ヶ所

- ①乙字ヶ滝公園入口内
- ②道の駅たまかわ「入口」
- ③たまかわ文化体育館西口入口
- ④東野清流(入口)(東屋隣)

■(案内板設置イメージ)
「乙字ヶ滝公園内に設置した玉川村観光案内板」

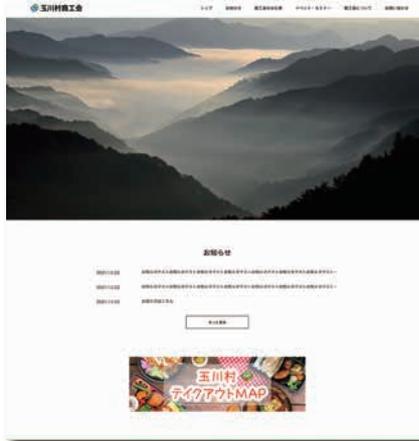


3. 玉川村商工会ホームページリニューアル
(トップページイメージ)

■HP制作ページ
(リニューアル内容・令和4年春アップ予定)

機能要件

- ・SNSシェア(記事のシェア等)
- ・SNS埋め込み
- ・youtube埋め込み
- ・googlemap埋め込み
- ・管理画面(会議所担当側)
- ・管理画面(管理側)
- ・googleアナリティクス
- ・SSL化(暗号化通信)
- ・レスポンス対応
- ・60周年記念誌掲載
- ・テイクアウトマップリンク



■玉川村商工会HP
(トップ画面イメージ)



4. 60周年記念品配付

「マーカーペン」3色セット
250セット作成(会員事業所等へ配布)



5. 商工会長杯(60周年記念)親善ゴルフ大会

- 開催日時 令和3年10月29日(金)
- 開催場所 棚倉田舎倶楽部(棚倉町)
- 大会内容 ハーフコンペ
- 参加者数 86名

6. 観光マップリニューアル発行

□2,000枚発行

- ・会員他村世帯関係者へ配布

※創立60周年記念式典を開催する予定でしたが、コロナ禍の影響により中止と致しました。



